

コード	40205
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	畜産の振興
--------	-------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115	関係課名
主管課名	農林課	

基本事業の目的

優良な雌牛に更新することにより、繁殖雌牛群の整備をし、品質の向上と子牛価格の安定化を図るとともに、助成事業を実施し、経営の安定化を図ることにより畜産の振興を目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	繁殖雌牛頭数	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	繁殖雌牛頭数（実績）÷目標頭数	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成25年度	目標達成年度	
目標達成数値	119頭	目標達成数値	

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	頭	119	119	119	119	119
	実績 B		頭	100	93	102	97	
	達成率 B/A		%	84.0	78.2	85.7	81.5	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	増頭を推進しているが、農地の確保が難しく、飼料作物の作付が不足している。このため、粗飼料不足を野草に頼っているが、冬時期の栄養が不足しがちである。経営安定化を図るため、農業振興奨励事業で優良雌牛導入事業、家畜疾病対策事業、子牛生産奨励事業、家畜共済加入奨励事業、流通対策事業等を実施している。
	課題	町やJAの事業を利用した増頭・更新の推進。夏冬時期の優良な粗飼料（牧草）利用を図るため、優良農地確保と飼料作物作付作業の省力化ができるよう永年性飼料作物等の推進が必要である。
	改善	五島家畜市場での子牛出荷成績を検証することにより、優良な粗飼料の必要性を農家へ説明し、耕作放棄地等の活用による飼料作物の作付を推進する。また、早期水稲後の再生稲の有効利用、永年性牧草の普及も図る。増頭・更新についても、事業の有効活用等によりJAとともに推進を図る。
2次評価	課題とされている粗飼料については、優良農地確保と飼料作物作付作業の省力化ができるよう永年性飼料作物等の推進に取り組むとともに、休耕地等の有効活用にも積極的に取り組み畜産農家の経営の安定化に努めること。	
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	402050401	優良雌牛導入補助事業	農林課	-	(途中) このまま事業を継続
2	402050501	流通対策補助事業	農林課	332千円	(途中) このまま事業を継続
3	402050601	子牛生産奨励補助事業	農林課	265千円	(途中) このまま事業を継続
4	402050701	子牛価格生産安定特別対策補助事業	農林課	88千円	(途中) このまま事業を継続
5	402050801	家畜共済加入奨励補助事業	農林課	161千円	(途中) このまま事業を継続
6	402050901	共進会出品助成補助事業	農林課	-	(途中) このまま事業を継続
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				846千円	